



神奈川県から参加した、菊池友来さんと泰央くん。「温かい人ばかりで感動しました。すぐにでも移住したいです」と、話してくれました。



令和5年2月から地域おこし協力隊として活動している、梅田ゆうかさん。自らの子育て体験をふまえ、子育て世帯の移住をテーマにツアーを企画。

移住・定住促進プロジェクト 梅田ゆうかさん

南阿蘇の暮らしを体験する、 子育て移住ツアーを開催！

取材・文／家入明日美（地域おこし協力隊）
撮影／宮ノ原直樹（地域科学研究所）

とてもありがたいことに、「南阿蘇村へ移住したい」という声を、たくさんの人からいただきます。阿蘇五岳に抱かれた雄大な景色、農家の皆さんが手塩にかけて育てたおいしい作物、豊かな水ときれいな空気。魅力あふれるこの村で、「子どもをのびのび育てたい」という人も多いようです。

とはいえ、子育て環境を深く知れる機会はなかなかありません。学校の雰囲気、子どもたちのようす、実際に移住して子育てを経験された人が感じていること…。行政の窓口で説明を受けるだけでなく、一歩地域に踏み込んでこそ見えてくるものも多いものです。

そこで、地域おこし協力隊移住・定住促進プロジェクトの梅田ゆうかさんが主体となって企画したのが、

子育てをテーマにした移住体験ツアー。保育園や小学校、学童の見学、防災に関するお話、習い事体験まで、盛りだくさんの内容を楽しんでいただきました。

先輩移住者との座談会では、子育て世帯のネットワーク、医療環境なども含め、楽しいことやちょっと大変なことなどをざっくばらんに話し、「まずは気軽に来てみて！」という先輩たちの気さくさに、菊池さん親子もホッとした表情を見せてくれました。

「移住前に地域に知り合いができ、安心感を抱いていただけたようです。今後について、より具体的に検討する後押しになればいいなと思います。たくさんの人にご協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです」と梅田さん。来年度も企画予定とのこと。

ツアー行程の一部をご紹介します



はくすい保育園で園児と交流。



白水小学校を見学。
給食もおいしい！



防災について学びます。



移住と子育ての座談会。



学童保育のようすを見学。



和太鼓体験。